Teleflex
Empowering the future of healthcare

**2025 年 7 月改訂（第 4 版）
＊2021 年 8 月改訂（第 3 版）

届出番号：13B1X00178000047

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 短期的使用口腔咽頭エアウェイ（70259000）

**キャスガイドエアウェイ

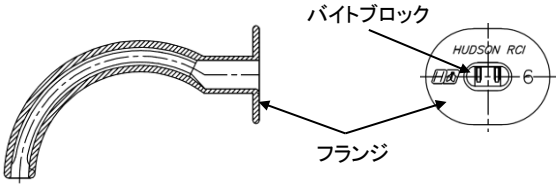
再使用禁止

【警告】
＜適用対象（患者）＞
反射が残っている患者では、嘔吐反射、喉頭痙攣を誘発することがあるので注意すること。

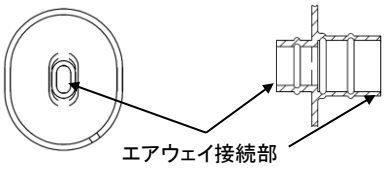
【禁忌・禁止】
再使用禁止、滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】
＊＜形状、構造等＞
本品は、沈下した舌根及び喉頭蓋を挙上することで気道を確保するエアウェイと、救急救命時に 2 つのエアウェイを接続して使用できるようにする接続用フランジで構成される。

＜各部の名称＞
1. エアウェイ



2. 接続用フランジ



＜材質＞
エアウェイ： ポリ塩化ビニル※
接続用フランジ： 低密度ポリエチレン
※ポリ塩化ビニルの可塑剤にはフタル酸ジ（2－エチルヘキシル）等を使用。

＜サイズ＞

品番	ISO サイズ	長さ(mm)
1171	5.5	50
1170	6	60
1169	7	70
1168	8	80
1164	9	90
1167	10	100
1166	11	110

【使用目的又は効果】
短期的使用を目的として、ガス交換又は吸引時に気道の開存性を維持するために口腔のみに挿入する湾曲したプラスチック製のチューブである。本品は、舌による気流遮断の防止に有用である。

【使用方法等】
1. 患者に合わせて適切なサイズを選択する。
2. マウスツーマウス法での人工呼吸を行う場合は、患者サイズのエアウェイに対応する接続用フランジ及びエアウェイを選択し、接続用フランジを挟んで上下が逆さまになるように、それぞれのエアウェイのフランジをしっかりと接続する(図 1)。

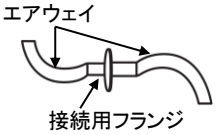


図 1

3. 患者の頭部を傾け、気道を開く。このとき、患者の頸部に骨折症状等の禁忌がないことを確認する。また、気道をふさぐ異物等がある場合は、取り除く。
4. 次のいずれかの方法を用いて、患者の気道にエアウェイを挿入する。
＜舌圧子を使用しない場合＞
(1) 患者の舌を動かすことを避けるため、先端を口蓋の上側に向けるようにしながらエアウェイを口の中に挿入する。
(2) 先端が口蓋垂を通過した後、エアウェイを静かに喉頭方向へ所定の位置まで回転させる。
＜舌圧子を使用する場合＞
(1) 舌圧子で患者の舌を押し下げる。
(2) 先端を喉頭側に向けながらエアウェイを口に挿入し、ゆっくりと所定の位置に滑り込ませる。
5. 挿入後は気道が開通したか確認する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>
気道開通が不十分な場合は、頭部屈曲や下顎挙上など用手的気道確保を併用すること。

【使用上の注意】
＊**重要な基本的注意**
本品は、可塑剤であるフタル酸ジ（2－エチルヘキシル）が溶出するおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】
保管方法：
水濡れ、高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売業者
テレフレックスメディカルジャパン株式会社
カスタマーサービス Tel：0570-055-160